



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手」とりあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第136号

令和2年9月18日発行
編集・発行

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

令和2年度 福島県共同募金会 赤い羽根共同募金運動スローガン 最優秀賞受賞作品

やさしさの エールを贈ろう 赤い羽根



市内各地での募金活動

目次

今年も共同募金にご協力をお願いいたします	2
役立ちました！共同募金	3
報告します 本会の令和元年度事業報告・決算	4～5
避難行動要支援者マップ作成事業	5
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8

愛ちゃんと希望くん



今年も共同募金にご協力をお願いいたします



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会

会長 金成 克哉

この度、故宇佐美忠一様の後任として、8月から会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

毎年、市民の皆さまには、共同募金にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が、地域の行政嘱託員、民生児童委員の皆さまをはじめ、多くの団体のご協力をいただき、募金活動が展開されます。

お寄せいただきました募金は、福島県共同募金会の配分委員会の承認を得て、本市の地域福祉を推進する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、障がい者団体、さらには大規模災害時の支援や見舞金として配分されています。

また、歳末たすけあい募金は、歳末時期に支援を必要とする世帯に対し、見舞金や介護用品等を支給するための募金であります。

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経済環境の中ではございますが、本市共同募金委員会では、民間の社会福祉事業や地域福祉活動への助成を通じ、制度の狭間にある様々な福祉課題の解決に向けて支援するとともに、誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける社会を目指し、関係機関との連携・協働により、福祉のまちづくりに努めて参りますので、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



令和2年度 いわき市の目標額

赤い羽根共同募金 4,999万1,000円
歳末たすけあい募金 2,507万1,000円

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
- 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金は民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行うため、目標額が設定されています。



共同募金(歳末たすけあい募金)を含むは、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から翌年3月31日まで全国一斉に行われます。

“ありがとう”メッセージ

© 中央共同募金会

私たちは6歳～18歳までの子どもたちを対象に、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応等の支援を行っています。

これまで、リース車両を送迎車としておりましたが、車椅子利用者への対応が出来ず、複数の車両を使いながら送迎を行っていました。

共同募金の配分を受け、車椅子対応型の車両を購入することが出来たことで、利用者の皆様を安全で快適な送迎が出来るようになりました。ありがとうございました。

特定非営利活動法人 ゴールデンハーブ 放課後等デイサービス アルケンII



役立ちました！共同募金

令和元年度
実績額

赤い羽根共同募金 4,999万1,459円
歳末たすけあい募金 2,507万1,526円

お寄せいただいた募金は、福島県共同募金会に集められ、配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みになっています。



© 中央共同募金会

●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額 5,090万円が配分されました。

① 安心して利用しやすい福祉施設づくりとして12施設へ2,500万円が配分されました。(単位：万円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
いわき学園	300	送迎用車両整備事業	ケアハウスハートフルなこそ	217	送迎用車両整備事業
小島保育園	300	園舎屋根防水修繕事業	いわき南子どもの家庭児童発達支援センター	187	送迎用車両整備事業
自立生活きらきら	300	水洗トイレ改修事業	悠々の里	173	送迎用車両整備事業
福祉協会	275	送迎用車両整備事業	ピースフルかべや	130	送迎用車両整備事業
ゴールデンハーブアルケンⅡ	247	送迎用車両整備事業	エル・ファロ未来空間	100	災害対策用備蓄品・備品の整備事業
植田保育園	230	フェンス改修事業	わくわくネットいわき チャレンジド	41	床修繕事業

② 市町村社会福祉協議会活動を推進するために2,575万円が配分されました。(単位：万円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市社会福祉協議会	2,575	地域福祉活動・在宅サービス事業など

③ 非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者^{りさい}に15万円が贈られました。(単位：万円)

	配分額	配分金の使途
災害見舞金	15	火災による罹災者 ^{りさい} への見舞金(火災15件)

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額 1,967万円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆さまへ届けられました。(単位：万円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
見舞金	1,002	生活困窮世帯(635世帯)* 在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	965	防水シート(151世帯)や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布、児童養護施設入所者お年玉支給など

“ありがとう” メッセージ



社会福祉法人 敬和会 植田保育園 (フェンス改修事業)

この度、園庭のフェンス改修工事を無事に終わることができました。
これまでは、老朽化による破損が目立ち、子どもたちのケガや転落等を心配していました。
共同募金の配分を受け、新しいフェンスを設置できたことにより、子どもたちを安全に保育できる環境が整い、保護者、職員ともに喜びと安心感でいっぱいです。
ありがとうございました。

実施した主な事業

報告します

本会の令和元年度事業報告・決算

本会では、第3次地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき」の実現に向けて、関係機関・団体などとの協働のもと地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

地域福祉事業

●住民支え合い活動づくり事業

第2層協議体会議の開催…29回

住民支え合い生活支援サービスの実施…163件

●住民支え合い事業

市内37地区指定

●避難行動要支援者マップ作成事業

11地区

●いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業

卒塾者数…39人

●緊急連絡カード(兼)医療情報キット配備事業

配備者数…7,084人

●つどいの場創出支援事業の実施

市内276箇所 実施回数…5,588回

●子育てサロン事業

実施箇所数…21箇所

実施回数…206回

●地域子育て支援拠点事業

延参加組数…1,897組

延利用者数…大人 4,561人

子ども 5,133人

●いわき市屋内遊び場

相談件数…78件

延利用者数…大人 19,645人

子ども 20,853人

●たすけあい子育てフードバンク事業

新規登録件数…9件

●車椅子同乗移送用自動車の貸し出し

利用件数…305件

ボランティア活動センター事業

●ボランティア相談

相談件数…31件

●児童・生徒向け福祉体験プログラム

62回

●第29回サマーショートボランティアスクールの実施

参加児童・生徒数…3,106人

福祉総合相談センター事業

●心配ごと相談

相談件数…238件

●無料法律相談

相談件数…71件

●ふれあい相談

相談件数…702件

●日常生活自立支援事業(あんしんサポート)

契約件数…10件(利用人数75人)

●日常生活自立支援事業

貸付件数…139件

●生活福祉資金

(貸付総額 231万4,478円)

●生活福祉資金

貸付件数…109件

●被災者支援事業

(貸付総額 1,318万8,000円)

●生活支援相談員の配置

対象世帯数…39世帯(659回訪問)

交流会実施回数…68回(934人参加)

募金運動の推進

●赤い羽根共同募金運動

募金実績額…4,999万1,459円

●歳末たすけあい運動

募金実績額…2,507万1,526円

福祉人材確保事業

●福祉の仕事相談会

相談件数…14件

ホームヘルプセンター事業

●在宅福祉サービス事業

居宅介護支援事業…2,254人

訪問介護事業…641人

(6,295回)

訪問入浴介護事業…505人

(2,208回)

予防訪問介護事業…387人

(2,263回)

●障がい福祉サービス事業

延利用者数…220人(1,279回)

●身体障がい者訪問入浴サービス事業

延利用者数…123人(690回)

●産前・産後ヘルパー派遣事業

利用者数…10人(85回)

令和元年度日本台風関係事業

●災害ボランティア活動センターの運営

活動件数…954件

延活動者数…10,185人

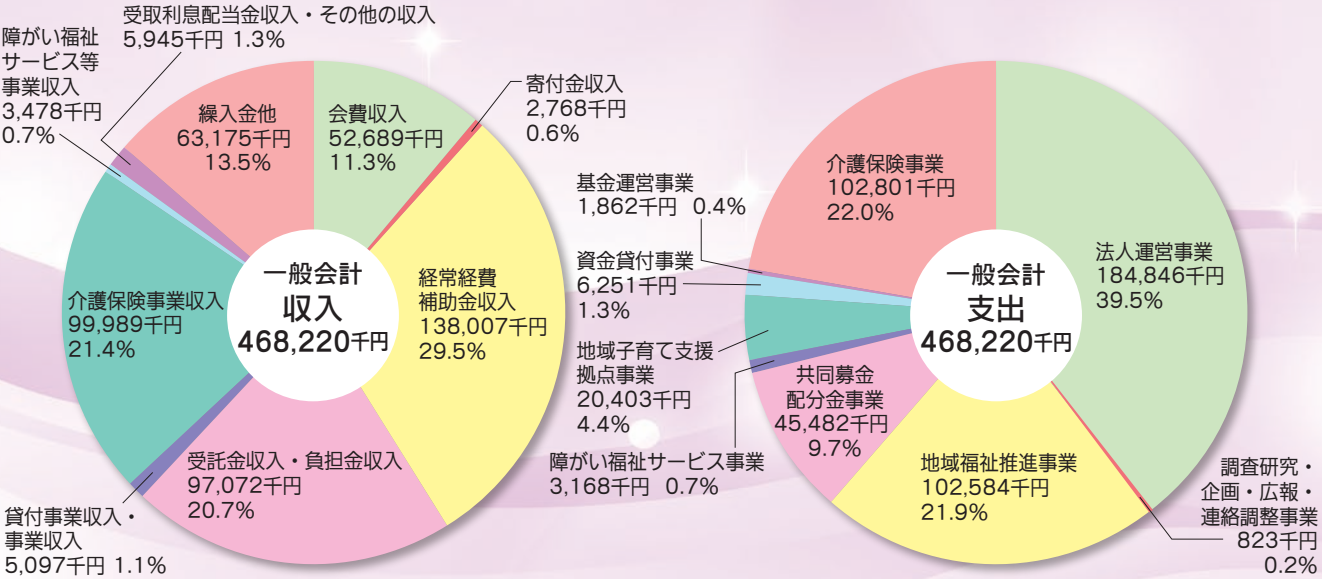
●緊急小口資金特例貸付

貸付件数…47件

●見守り支援員の配置

対象世帯数…799世帯

令和元年度 収入・支出のあらまし



避難行動要支援者マップ作成事業

日頃から地域住民が自主的に支え合い支援していく仕組みづくりを進めるため、避難行動要支援者マップ作成事業（市受託事業）を実施しています。

この事業では、地域の関係機関・団体等の協力を得ながら、災害時に援護を要する方や日常的に支援を必要とする方（緊急連絡カード（兼）医療情報キッドを配備している世帯等）を把握し、避難所の場所、周辺の活用可能な医療・福祉施設等、避難方法、地域の支援者の方等を標記した地図を作成するもので、令和2年9月1日時点で、市内10地区においてマップづくりを行っていきます。

平時からの見守りが
災害時の支え合いへ



内郷地区

令和2年度マップ作成地区一覧

平		四倉	仲町
小名浜	地区選定中	遠野	上滝区（予定）
勿来		小川	高萩区（予定）
常磐	迎地区	好間	川中子区
内郷	宮1区	川前	12区



ボランティア活動センター通信

ボランティア団体紹介

内郷女性消防クラブ

私たちは、家庭からの火災発生防止と、火災予防思想の高揚及び地域の協働体制の強化を図り、明るい安全な地域を築くことを目的に、昭和62年に「下綴婦人消防クラブ」として発足し、令和2年6月からは、「内郷女性消防クラブ」に名称を変更し、現在60名の隊員で活動しています。

主な事業としては、防災に関する自主訓練や小学校などでの防災演劇、防災に関する指人形劇など防災啓発事業を行っています。

いつ起こるかわからない自然災害に備え、子どものうちから防災について学ぶことで危機管理の意識を根付かせたいという考えから、昨年9月に、土砂災害をテーマとした防災教室を開催しました。当日は、国土交通省が作成したカードゲーム「土砂崩れ」編を活用し、地域内の親子約30名が楽しみながら防災について学ぶことができました。

これからも、地域に根付いた防災活動を続けていきたいと思っています。



防災教室



地域防災啓発活動

いわき市消防本部から「Net119緊急通報システム」運用開始のご案内

いわき市消防本部では、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能等に障がいのある方が、円滑に消防への通報を行えるNet119緊急通報システムの運用を令和2年10月1日から開始することとなりました。

このシステムをご利用いただくには、事前登録が必要となりますので、詳細につきましては、消防本部指令課までお問い合わせください。

利用対象者

いわき市に在住または通勤、通学している方で聴覚・言語機能等の障がいにより、音声による119番通報が困難な方。

利用可能端末

インターネット接続及び位置情報の取得、電子メールの利用が可能な携帯電話等。（一部利用できない端末があります。）

申請書配置及び受付場所

- (1) 消防本部指令課、各消防署、分署、各分遣所
 - (2) 地区保健福祉センター
 - (3) 各支所（地区保健福祉センター未設置地区の各支所）
- ＊ 消防本部ホームページ（申請書のダウンロード）

利用料

システムの利用料は無料ですが、通信料は利用者負担となります。



携帯電話	インターネット・メールが可能な携帯電話（一部対応できない機種があります）
スマートフォン	iPhone iOS 10 以降 Android Ver 4.4 以降

お問い合わせ先 消防本部指令課 ☎22-0123 FAX23-9704まで
電子メール shobo-shirei@city.iwaki.lg.jp

社協通信

ご相談ください

生活・就労支援センター

生活・就労支援センターでは、失業や不安定な雇用形態などにより経済的に行き詰まっている方や、心身の問題を抱える方などからお困りごとの相談をお受けし、状況に応じて、支援先の紹介を行ったり、支援プランを作成する等、解決に向けて、継続的なサポートを行っています。

どんなことでも相談してください。



課題解決に向けて各種支援関係機関と連携しながら支援します。

お問い合わせ先 生活・就労支援センター ☎38-6500まで

seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

お困りごとはありませんか？

高齢者や障がい者などの皆さんが、日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い、助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しております。ゴミ出しや電球交換などお困りの方は、お住まいの地域のいわき市社会福祉協議会 各地区協議会まで、お気軽にご相談ください。また、お手伝いにご協力いただける方（サポーター）も募集しております。

住民支え合い生活支援サービスの仕組み

困り事相談・サポーター登録窓口

いわき市社会福祉協議会
地区協議会

- 1 困り事相談 サービスの利用申込
- 2 生活状況の確認（訪問）
- 3 サービスの利用決定
- 4 サービスの提供依頼
- 5 サービスの提供
- 6 活動状況の報告

高齢者
など

支え合い
サポーター

お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320(代)まで

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

◆小名浜地区協議会 (子育てサロン)



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を休止しておりましたが、8月から再開し、小名浜市民会館で毎月3回開催

しています。

主任児童委員や民生児童委員が子どもたちを見守りながら、お母さんたちが子育てに関する情報交換や悩みを相談したりする場となっております。

◆詳しくは、小名浜地区協議会 ☎54-2111代まで

◆勿来地区協議会 (ふれあい農業体験)



6月から農業とおした世代間交流を目的に、台湾友好基金(台湾共同募金会)の助成を受け、山田ふれあい福祉の会、勿来地区ボランティア

連絡会、なこそ授産所などから約20名が参加し、地域の畑を活用してさつまいもや大根を育てています。

秋には、住民同士の交流を深めるための収穫祭が開催できることを期待しています。

◆詳しくは、勿来地区協議会 ☎63-2111代まで

◆好間地区協議会 (子育てサロン)



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を休止しておりましたが、7月から再開しました。

ボランティアさんたちによる大型絵本の読み聞かせや手遊び、誕生日会と楽しい時間を過ごしました。久しぶりの開催となり、参加者から「待ち遠しかった」との声をいただきました。

◆詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221代まで

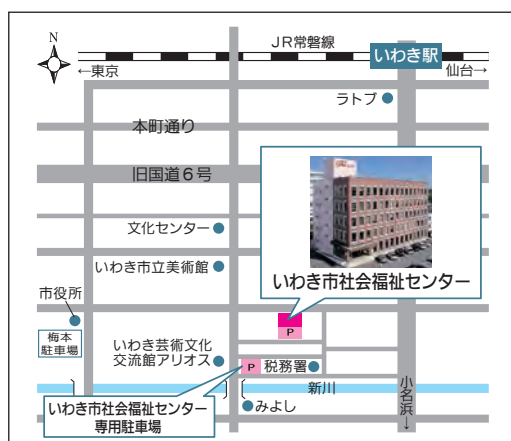
◆三和地区協議会 (ボランティア講座)



「地域力は、福祉力」をテーマに7月15日(水)、三和ふれあい館研修室において開催しました。

当日は、15名が参加し、地域での福祉力を高めるためには何が必要なのかを考える機会となり、参加者から「日頃から近所同士の付き合いや交流をすることは大切なこと」などの声が聞かれました。

◆詳しくは、三和地区協議会 ☎86-2111代まで



編集後記

共同募金は、子どもたち、高齢者、障がい者などの福祉活動を支援するほか、災害時には、被災者を支援するための義援金を受け付け、見舞金として配布したり、被災地で支援・救援活動を行うボランティアやNPO等へ活動資金を助成するなど、幅広く役立てられています。今年も皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
広報委員一同

皆さまの声をお待ちしております!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしております。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市協
ホームページ